

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	1074 ころの丘管理運営経費	会計	01	一般会計
		款	03	民生費
		項	02	老人福祉費
基本 施策	06 高齢者の健やかな生活を支える	目	01	老人福祉総務費
		細目	206	老人福祉センター等維持管理経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	51	ころの丘管理運営経費
担当部課	コード	703000		担当者 氏名
	名称	大山田支所住民福祉課		
		担当者 氏名	中川 八千代	連絡先
				47 - 1151 (内線) 222

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	市民	※対象件数
成果(どうする)	介護のいらぬ健康で元気な高齢者が増加する。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
関連事業		
H21 事業 内容	①ころの丘(屋根付ゲートボール場)管理運営 大山田温泉福祉公社に、指定管理制度により管理運営を委託。	
社会情勢 の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	1972.48㎡
3 規模・構造	鉄骨平屋建(H型鋼等構造材)
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	大山田温泉福祉公社
2 配置人員	2人
3 年間運営費	1,767千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			年間利用組数	組	目標 250 実績 339	目標 250 実績 326

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				年間利用者数	利用者数を指標としました。	人	目標 6,100 実績 7,791

投入 コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	1,767	1,767	1,767	1,767	1,767	1,767	1,767	
Aの 財源 内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0	0					
一般財源	1,767	1,767	1,767	1,767	1,767	1,767		
事業投入人件費(B)	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	720
フルコスト(A)+(B)	2,487	2,487	2,487	2,487	2,487	2,487	2,487	

事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人(法人)だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
利用人数は増加しており、休止、廃止になると健康な高齢者が集う場なくなる。	○	
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高 サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	現状の予算で効果的な管理運営ができています。
昨年度の 取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 冬季の利用が減少する傾向があり、施設に臨時的風除けフェンス等を取付けて利用者の確保に努めてもらった。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	中村 崇
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 効率的・合理的な運営を目指すために、「ころの丘」の施設及び運営管理を、「伊賀市公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例」第5条を適用し、大山田温泉福祉公社に指定管理させている。期間については、平成21年度から平成23年度の3年間とする。
現時点における 課題、その他	課題なし
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	